

RTM summer camp 目標

早稲田大学表現工学科
修士一年 出来寛祥

自己紹介

- ・ 学部三年から洋画家でもある藪野教授の研究室へ
都市や映画を見て回る。コーヒー14杯分のカフェインでも寝てしまう映画に出会う。卒論は、物語についてやろうと思っていたら、構造のことを考えだした。言語や事物の構造を考えるうちに、人間の認知に興味湧く。
- ・ 修士からは尾形研究室へ
人間の認知について学ぶ。やっていることは、機械学習。ロボットも用いるために、ハードも触るようになる。

やりたいこと

- ・ macからkinectを動かして、いろいろなものにつなげたい。
- ・ AR.Droneで遊びたい。
- ・ 仮想空間と現実空間が合わさったようなゲームを作りたい。

具体的にやりたいことを、次のスライドから
ただし、すごい高望みをしている部分が大きいです。
いつか、実現する前段階と考えています。

AR.Drone

- ・ googleが段ボールとスマートフォンでHMDを実現する手法を公開した。その方法で安価にHMDを実装して、AR.Droneの視点になる。

Kinect

- ・ HMD（望ましくはGoogle Glassのような透過型のもの）にKinectで取得した体の情報を用いて，魔法の様なアクションを起こさせたい．最終的には，仮想空間と現実空間を融合させた空間で，リアルなものを動かしたり，仮想的なものを動かして，そこにあるものとなないものの区別をなくさせるような不思議な空間をつくりたい．ここにAR.Droneも導入したい．